



猶予金額:50万円以下

住所 所在地	〇〇市△△町×-×
氏名 名称	〇〇 〇〇

## 財産収支状況書

令和元年12月10日

## 1 現在納付(納入)可能額

提出日現在の状況を記載します。

現金	金額	うち納付(納入)可能金額①	納付に充てられない事情
	80,000 円	50,000 円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input checked="" type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他( )
預貯金	種類	金額	うち納付(納入)可能金額②
〇×銀行 △□支店	普・当	10,000 円	0 円
〇×信用金庫 △□支店	普・当	60,000 円	0 円
	普・当	円	円
その他換価の容易な財産	金額	うち納付(納入)可能金額③	納付に充てられない事情
	上場株式等、売却が容易な財産	円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他( )

現在納付(納入)可能額①+②+③

50,000 円

ただちに納付に充てることになる金額です。

## 2 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

収入	売上、給与、報酬	800,000 円
	その他( )	円
収入合計④		800,000 円
支出	仕入	400,000 円
	家賃等	60,000 円
	諸経費	50,000 円
	借入金の返済	60,000 円
	生活費	180,000 円
	扶養親族 3人	
支出合計⑤		750,000 円
納付(納入)可能基準額⑥(④-⑤)		50,000 円

## 3 分割納付(納入)計画

月	納付(納入)金額	備考
12月	50,000 円	「徴収猶予申請書」又は「換価の猶予申請書」の「納付(納入)計画」欄に転記します。
1月	50,000 円	
2月	80,000 円	貸付金の回収による入金あり
3月	20,000円+延滞金	増額、減額の事由等を記載します。(記載例) 「不動産売却による収入のため」「借入による入金のため」「製造用機械の買換えによる支出のため」「家屋の修繕費の支出のため」「〇〇税の納付のため」など
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	「備考」欄には、「生活費」欄に記載した金額について、食費、家賃、水道光熱費、医療費、教育費等金額の内訳を具体的に記載します。親族の中に、生活費を負担している人がいる場合は、その額を減算します。
月	円	
〔備考〕		

## 4 財産等の状況

## (1) 売掛金・給与・貸付金等による収入の状況

売掛先・勤務先等の名称・住所	売掛金等の額	回収等予定日	種類	回収等の方法	
△△ △△	〇〇市□□町××	30,000 円	令和2.2.25	貸付金	現金
		円			
		円			

(2) その他の財産の状況 有 無

不動産等	土地・建物(〇〇市△△町×-×)	国債・株式等	-
車両	普通自動車 1台(△△530ま〇〇〇〇)	その他(保険等)	××生命保険

(3) 借入金・買掛金の状況 有 無

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇×銀行 △□支店	6,000,000 円	60,000 円	令和〇年〇月	可・ <input checked="" type="checkbox"/> 否	土地・建物(〇〇市△△町×-×)
	円	円	年 月		

※各欄に記載しきれない場合は、適宜別の用紙に記載して提出してください。